

# ネイチャーウォッチングだより

令和5年 12月 20日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大・短大

本年度最後となるネイチャーウォッチングB日程第3回「星空ウォッチング」を、12月16日(土)の夜、岡崎少年自然の家で開催しました。初冬の夜空は、空気が澄んで美しい星々を見るのに適しています。そのような星空を観察していただこうと、スタッフ一同、準備を進めてきました。



ところが、星空ウォッチング当日はあいにくの小雨模様で、期待していた木星や土星、スバルなどの星々を見る事ができませんでした。残念な気持ちになりましたが、それを講師の藤井哲



夢を語る藤井先生

也先生が吹き飛ばしてくださいました。日本天文学会会員の藤井先生は、自らが所有する天体観測所で、彗星や流星などの観察をしております。先生が撮影された豊富な天体写真と天文ソフトを使って、当日の星空(木星や土星、アンドロメダ大星雲、オリオン座大星雲など)の解説をしていただきました。プロジェクターで映し出された映像で、実際の星空は見られなくても、それらの星たちを本当に見ている気持ちになりました。

また、来年見られる星空の情報も教えていただきました。8月12日から13日に、ペルセウス座流星群が見ごろになります。最大で1時間に50個くらいの流れ星が見られるそうです。12月には、土星やプレアデス星団(すばる)が月に隠される現象も見られます。そして、最も注目されるのが「紫金山・アトラス彗星」です。9月下旬には夜明け前の東の空で、10月になると夕方の西の空で明るく雄大な尾を引いた姿が見られるそうです。これは見逃しません。

さらに先生の夢も語っていただきました。12年後の2035年9月2日の10時過ぎには、日本の関東地方から北陸地方にかけて「皆既日食」が観察できます。18年後の2041年の10月25日には、愛知県を含む東海地方で「金環日食」が見られるそうです。そして、2061年の夏には、「ハレー彗星」が76年ぶりに帰ってきて、地球に近いところを通過します。これらの天体ショーは、日本中の話題になることでしょう。先生は子どもたちに夢を託し「みんな、絶対に見てよ!」と熱く語られました。

最後に、皆さんの感想の一部を紹介します。

写真が綺麗で楽しかった、また参加したい。(子)  
講師の先生の、星への情熱が伝わってきて、かついろいろなツールも拝見でき、興味深かったです。(父)

話が楽しかったです。星や宇宙に興味をもちました。パパ、ママと見つけてみたいです。(子)

観察が出来なかったのは残念でしたが、説明が分かりやすく、先生の星空への想いが伝わってきて楽しかったです。天体望遠鏡を見たことがなかったので、それだけでも子どもと一緒に見てみたいです。予備日があれば、より嬉しいです。ありがとうございました。(母)



星空ウォッチングに参加された皆さん

それぞれの回で、事務局のみなさま、岡崎女子大学・短期大学のみなさんはじめ、講師の先生方が熱心に準備いただいたことが伝わってきました。内容も、大人が聞いても興味深く、親子で楽しめました。このような機会をありがとうございました。是非、今後も継続されることを祈念します。(親)